

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 一般国道248号 関バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 岐阜県											
<b>起終点</b> 自：岐阜県関市西田原 至：岐阜県関市倉知		<b>延長</b> 5.3 km											
<b>事業概要</b> 一般国道248号は、愛知県蒲郡市を起点とし、岐阜県東濃地域、中濃地域を經由して岐阜市に至る延長89kmの幹線道路である。関バイパスは、人口の急激な増加や都市化の進展による交通量の増加により慢性的な渋滞が発生し、日常生活に支障をきたしていることから、沿線の渋滞緩和を目的としたバイパス事業である。													
H6年度事業化		S53年度都市計画決定	H6年度用地着手										
H6年度工事着手													
<b>全体事業費</b> 154億円		<b>事業進捗率</b> 84%	<b>供用済延長</b> 1.8km										
<b>計画交通量</b> 16,500台/日													
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体) 2.8	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 31/181億円 (事業費：26/176億円) (維持管理費：5/5億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 512/512億円 (走行時間短縮便益：504/504億円) (走行経費減少便益：6.3/6.3億円) (交通事故減少便益：2.4/2.4億円)										
	B/C (残事業) 16.5			<b>基準年</b> 平成20年									
<b>感度分析の結果</b> 交通量変動：B/C=15 (交通量-10%) B/C=18 (交通量+10%) 事業費変動：B/C=15 (事業費+10%) B/C=18 (事業費-10%) 事業期間：B/C=16 (期間+2年) B/C=16 (期間-2年)													
<b>事業の効果等</b> ・現道の慢性的な交通渋滞を解消し、年間渋滞損失時間の削減等を図る。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 <span style="float: right;">他4項目に該当</span>													
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 本事業は、岐阜圏域・中濃圏域・東濃圏域の円滑な道路網を構築する国道248号バイパス計画の最終区間であり、関市内の交通渋滞解消としても期待されているとして、関市・美濃加茂市など沿線市で構成される「国道248号バイパス新設促進期成同盟会」より、平成20年7月に早期整備の要望を受けている。													
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 平成17年3月に東海環状自動車道東回りルートが開通しており、同路線が事故や災害などで通行規制がかけられた場合、ネットワークの代替路線として期待されている。													
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成19年度末までに1.8kmを暫定供用しており、残る区間3.5kmのバイパス改良部について引き続き進めている。													
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 残工事の進捗を図り、平成22年度の完成を予定している。													
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 4車線立体交差から2車線の簡易立体への見直し及び、砂防指定地内河川に架かる橋梁の一部をBOXカルバート形式に変更するなど、約4億円のコスト縮減を図っている。													
<b>対応方針</b> 事業継続													
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
<b>事業概要図</b>													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">(Red line)</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(Blue dashed line)</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(Grey line)</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(Red outline)</td> <td>うち供用中</td> </tr> </tbody> </table>				凡 例		(Red line)	供用中	(Blue dashed line)	事業中	(Grey line)	再評価箇所	(Red outline)	うち供用中
凡 例													
(Red line)	供用中												
(Blue dashed line)	事業中												
(Grey line)	再評価箇所												
(Red outline)	うち供用中												

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。